



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月30日

上場会社名 トリニティ工業株式会社  
 コード番号 6382 URL <http://www.trinityind.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 玉木 利明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 乗安 弘治

TEL 0565-24-4802

定時株主総会開催予定日 2020年6月23日

配当支払開始予定日

2020年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	36,748	3.9	2,645	38.6	2,835	26.1	1,942	27.7
2019年3月期	35,352	15.2	1,909	22.0	2,249	14.4	1,521	15.6

(注) 包括利益 2020年3月期 1,943百万円 (51.9%) 2019年3月期 1,279百万円 (38.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	118.43		8.4	7.7	7.2
2019年3月期	92.78		6.9	6.3	5.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 68百万円 2019年3月期 188百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	37,553	24,405	63.4	1,452.12
2019年3月期	36,187	23,018	62.1	1,370.15

(参考) 自己資本 2020年3月期 23,815百万円 2019年3月期 22,471百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,225	974	635	10,131
2019年3月期	3,635	617	581	8,468

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		11.00		17.00	28.00	459	30.2	2.1
2020年3月期		15.00		21.00	36.00	590	30.4	2.6
2021年3月期(予想)								

(注)2021年3月期の配当につきましては、現時点では未定としております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため、未定といたします。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示致します。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	18,220,000 株	2019年3月期	18,220,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	1,819,314 株	2019年3月期	1,819,256 株
期中平均株式数	2020年3月期	16,400,718 株	2019年3月期	16,400,748 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	31,515	3.8	1,849	30.1	2,450	13.4	1,776	7.4
2019年3月期	30,358	13.5	1,422	15.6	2,160	1.4	1,654	4.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	108.33	
2019年3月期	100.86	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2020年3月期	30,035	18,724	18,724	18,724	62.3	1,141.68	1,141.68	
2019年3月期	29,454	17,550	17,550	17,550	59.6	1,070.11	1,070.11	

(参考) 自己資本 2020年3月期 18,724百万円 2019年3月期 17,550百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。上記予想に関する事項は、3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
(1) 役員の変動	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続いているものの、米中貿易摩擦の長期化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大により、一段と先行き不透明な状況となりました。

当社グループの主要顧客である自動車業界では、国内市場は新型車効果による需要押し上げ等により堅調に推移したものの、消費税率の引上げ等により減少に転じており、海外市場も、主要市場である米国、中国で減少いたしました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、設備部門では自動車の塗装工程における地球環境に配慮した省エネ設備を開発し、お客様に導入いただきました。

自動車部品部門でも設備部門の最新技術を適用し、他社では真似できない塗装効率を実現し、お客様の期待に応えることが出来ました。

なお、当連結会計年度においては新型コロナウイルスの感染拡大による影響は限定的になっております。

この結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は367億4千8百万円と前年同期に比べ13億9千5百万円（3.9%増）の増収となりました。

営業利益は26億4千5百万円と前年同期に比べ7億3千6百万円（38.6%増）の増益、経常利益は28億3千5百万円と前年同期に比べ5億8千6百万円（26.1%増）の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は19億4千2百万円と前年同期に比べ4億2千万円（27.7%増）の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ・設備部門

設備部門は、塗装設備納入等の増加により売上高は272億3千6百万円と前年同期に比べ11億2千3百万円（4.3%増）の増収、営業利益は35億5千3百万円と前年同期に比べ6億1千9百万円（21.1%増）の増益となりました。

#### ・自動車部品部門

自動車部品部門は、内装部品及び外装部品の生産・販売の増加により売上高は95億1千2百万円と前年同期に比べ2億7千2百万円（2.9%増）の増収、営業利益は7億7百万円と前年同期に比べ1億3千5百万円（23.8%増）の増益となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.7%増加し、259億2千8百万円となりました。これは主に、現金及び預金が18億7千1百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、116億2千5百万円となりました。これは主に、出資金が1億2千万円減少、建物及び構築物（純額）が9千2百万円減少したことによります。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、109億3千万円となりました。これは主に、前受金が7億4千7百万円増加、その他が4億4千3百万円増加、支払手形及び買掛金が11億8千8百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.8%減少し、22億1千7百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が1億2千1百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%減少し、131億4千8百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.0%増加し、244億5百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、101億3千1百万円となり、前連結会計年度末より16億6千3百万円(前年同期比19.6%増)増加となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は32億2千5百万円(前年同期比11.3%減)となりました。これは主に、仕入債務の減少額14億7百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9億7千4百万円(前年同期比57.9%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億9千2百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6億3千5百万円(前年同期比9.3%増)となりました。これは主に、配当金の支払額5億2千4百万円によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	65.0	57.6	61.8	62.1	63.4
時価ベースの自己資本比率(%)	26.3	26.4	49.1	27.1	29.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため、未定といたします。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示致します。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、配当による株主各位への利益還元を経営の最重要政策のひとつとして重視するとともに、将来にわたる社業の安定と発展の為に内部留保を充実し、株主各位の利益を長期的に確保することが重要であると考えております。

内部留保につきましては、企業体質の強化に向けて財務体質の充実を図りながら、新商品・次世代商品の研究開発投資、経営体質の効率化・強靱化等の資金需要に充当いたします。

当事業年度の期末配当金につきましては、1株につき21円00銭とさせていただきます。予定であります。

なお、中間配当金は1株につき15円00銭として実施しておりますので、当事業年度の年間配当金は1株につき36円00銭となる予定であります。

次期の配当金につきましては、現時点では未定としております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較の可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準の連結財務諸表を採用することとしております。

なお、I F R S (国際財務報告基準) の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,386,363	11,258,121
受取手形及び売掛金	10,893,336	11,655,187
電子記録債権	2,763,911	1,546,215
製品	35,806	40,887
仕掛品	532,142	644,413
原材料	505,220	495,572
その他	190,727	288,316
貸倒引当金	△126	△116
流動資産合計	24,307,381	25,928,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,493,203	7,521,499
減価償却累計額	△5,527,296	△5,648,408
建物及び構築物(純額)	1,965,906	1,873,090
機械装置及び運搬具	7,885,471	8,001,404
減価償却累計額	△6,892,284	△6,989,533
機械装置及び運搬具(純額)	993,186	1,011,870
工具、器具及び備品	9,168,067	9,254,568
減価償却累計額	△8,868,804	△8,997,601
工具、器具及び備品(純額)	299,262	256,966
土地	5,232,097	5,232,097
リース資産	170,250	253,294
減価償却累計額	△92,311	△136,760
リース資産(純額)	77,939	116,534
建設仮勘定	178,319	213,878
有形固定資産合計	8,746,712	8,704,438
無形固定資産		
投資その他の資産	169,620	163,575
投資有価証券	2,389,413	2,303,845
出資金	536,199	415,941
繰延税金資産	16,716	11,658
その他	43,808	46,514
貸倒引当金	△22,807	△20,770
投資その他の資産合計	2,963,331	2,757,188
固定資産合計	11,879,664	11,625,202
資産合計	36,187,045	37,553,801

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,617,752	3,429,646
電子記録債務	3,754,599	3,523,876
未払金	378,318	372,447
未払費用	277,358	270,539
前受金	60,234	807,458
リース債務	32,561	59,220
未払法人税等	390,677	610,497
賞与引当金	668,133	732,316
役員賞与引当金	77,198	66,377
完成工事補償引当金	57,349	58,522
設備関係支払手形	9,480	40,973
その他	514,797	958,756
流動負債合計	10,838,461	10,930,632
固定負債		
リース債務	54,187	65,370
繰延税金負債	675,060	553,685
役員退職慰労引当金	167,442	157,606
退職給付に係る負債	1,400,411	1,409,846
資産除去債務	31,350	31,350
その他	1,451	—
固定負債合計	2,329,903	2,217,859
負債合計	13,168,364	13,148,492
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,311,000	1,311,000
資本剰余金	790,542	790,542
利益剰余金	21,398,523	22,816,095
自己株式	△1,613,723	△1,613,772
株主資本合計	21,886,342	23,303,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	908,462	831,073
為替換算調整勘定	99,009	42,156
退職給付に係る調整累計額	△422,364	△361,373
その他の包括利益累計額合計	585,107	511,856
非支配株主持分	547,230	589,588
純資産合計	23,018,680	24,405,309
負債純資産合計	36,187,045	37,553,801

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	35,352,892	36,748,514
売上原価	29,132,113	29,816,847
売上総利益	6,220,779	6,931,667
販売費及び一般管理費	4,311,520	4,286,182
営業利益	1,909,259	2,645,484
営業外収益		
受取利息	75,518	74,361
受取配当金	47,356	47,859
持分法による投資利益	188,379	68,189
雑収入	60,194	22,650
営業外収益合計	371,450	213,060
営業外費用		
為替差損	2,687	2,395
固定資産除却損	14,788	14,766
雑支出	13,726	5,591
営業外費用合計	31,202	22,753
経常利益	2,249,507	2,835,790
特別利益		
関係会社清算益	—	9,650
特別利益合計	—	9,650
税金等調整前当期純利益	2,249,507	2,845,440
法人税、住民税及び事業税	663,531	964,601
法人税等調整額	22,094	△112,238
法人税等合計	685,625	852,363
当期純利益	1,563,881	1,993,077
非支配株主に帰属する当期純利益	42,300	50,682
親会社株主に帰属する当期純利益	1,521,580	1,942,395

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,563,881	1,993,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85,643	△77,388
為替換算調整勘定	△187,799	△9,026
退職給付に係る調整額	6,482	60,991
持分法適用会社に対する持分相当額	△17,140	△24,004
その他の包括利益合計	△284,101	△49,428
包括利益	1,279,780	1,943,648
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,252,606	1,869,144
非支配株主に係る包括利益	27,174	74,504

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,311,000	790,542	20,368,965	△1,613,719	20,856,787
当期変動額					
剰余金の配当			△492,022		△492,022
親会社株主に帰属する当期純利益			1,521,580		1,521,580
自己株式の取得				△3	△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,029,558	△3	1,029,554
当期末残高	1,311,000	790,542	21,398,523	△1,613,723	21,886,342

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	994,106	288,823	△428,847	854,082	578,679	22,289,549
当期変動額						
剰余金の配当						△492,022
親会社株主に帰属する当期純利益						1,521,580
自己株式の取得						△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△85,643	△189,814	6,482	△268,974	△31,449	△300,423
当期変動額合計	△85,643	△189,814	6,482	△268,974	△31,449	729,130
当期末残高	908,462	99,009	△422,364	585,107	547,230	23,018,680

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,311,000	790,542	21,398,523	△1,613,723	21,886,342
当期変動額					
剰余金の配当			△524,823		△524,823
親会社株主に帰属する当期純利益			1,942,395		1,942,395
自己株式の取得				△49	△49
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			1,417,571	△49	1,417,522
当期末残高	1,311,000	790,542	22,816,095	△1,613,772	23,303,864

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	908,462	99,009	△422,364	585,107	547,230	23,018,680
当期変動額						
剰余金の配当						△524,823
親会社株主に帰属する当期純利益						1,942,395
自己株式の取得						△49
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△77,388	△56,853	60,991	△73,251	42,357	△30,893
当期変動額合計	△77,388	△56,853	60,991	△73,251	42,357	1,386,629
当期末残高	831,073	42,156	△361,373	511,856	589,588	24,405,309

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,249,507	2,845,440
減価償却費	869,421	855,120
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	23,956	8,941
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	4,376	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,425	△9,836
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,081	△247
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,055	64,230
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	9,166	△10,821
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	5,915	1,009
受取利息及び受取配当金	△122,875	△122,220
固定資産除却損	14,788	14,766
持分法による投資損益(△は益)	△188,379	△68,189
売上債権の増減額(△は増加)	961,590	446,188
たな卸資産の増減額(△は増加)	△191,481	△109,199
仕入債務の増減額(△は減少)	486,777	△1,407,241
前受金の増減額(△は減少)	△257,688	739,593
その他	181,121	499,855
小計	4,032,647	3,747,391
利息及び配当金の受取額	232,114	234,367
法人税等の支払額	△629,236	△756,523
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,635,526	3,225,234
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△154,388	△597,347
定期預金の払戻による収入	278,916	349,036
有形固定資産の取得による支出	△690,639	△692,958
無形固定資産の取得による支出	△56,608	△30,690
貸付けによる支出	—	△8,034
貸付金の回収による収入	2,567	4,987
その他	2,964	728
投資活動によるキャッシュ・フロー	△617,188	△974,278
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△3	△49
配当金の支払額	△492,022	△524,823
非支配株主への配当金の支払額	△58,623	△35,642
リース債務の返済による支出	△30,803	△75,027
財務活動によるキャッシュ・フロー	△581,453	△635,542
現金及び現金同等物に係る換算差額	△140,432	47,968
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,296,451	1,663,381
現金及び現金同等物の期首残高	6,172,091	8,468,543
現金及び現金同等物の期末残高	8,468,543	10,131,924

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

在外連結子会社において、国際財務報告基準第16号「リース」を当連結会計年度の期首から適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上する方法に変更しております。

当該会計基準の適用にあたり、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

## (セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、事業部単位に経営資源の配分の決定及び業績評価を行うために、取締役会へ定期的に報告されているものであります。

当社は、事業部を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「設備部門」及び「自動車部品部門」の2つを報告セグメントとしております。

「設備部門」は、塗装プラント、塗装機器及び産業機械の設計、製造及び販売を行っております。「自動車部品部門」は、自動車内外装部品の製造及び販売を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表計 上額(注) 2
	設備部門	自動車部品部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,113,223	9,239,669	35,352,892	—	35,352,892
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	26,113,223	9,239,669	35,352,892	—	35,352,892
セグメント利益	2,934,538	571,977	3,506,516	△1,597,257	1,909,259
セグメント資産	19,182,046	9,348,998	28,531,045	7,656,000	36,187,045
その他の項目					
減価償却費	127,429	678,253	805,682	63,739	869,421
持分法適用会社への投資額	966,106	496,326	1,462,432	—	1,462,432
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	117,147	605,441	722,589	73,877	796,466

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,597,257千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)であります。
- (2) セグメント資産の調整額7,656,000千円の主なものは、親会社での余資運用資金(預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門にかかる資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額63,739千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額73,877千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表計 上額(注) 2
	設備部門	自動車部品部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,236,496	9,512,017	36,748,514	—	36,748,514
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	27,236,496	9,512,017	36,748,514	—	36,748,514
セグメント利益	3,553,751	707,842	4,261,594	△1,616,109	2,645,484
セグメント資産	19,441,820	8,834,336	28,276,157	9,277,644	37,553,801
その他の項目					
減価償却費	179,995	604,473	784,469	70,651	855,120
持分法適用会社への投資額	1,001,717	378,759	1,380,476	—	1,380,476
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	94,466	587,598	682,065	70,587	752,652

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,616,109千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)であります。
  - (2) セグメント資産の調整額9,277,644千円の主なものは、親会社での余資運用資金(預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門にかかる資産等であります。
  - (3) 減価償却費の調整額70,651千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額70,587千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,370.15円	1株当たり純資産額	1,452.12円
1株当たり当期純利益	92.78円	1株当たり当期純利益	118.43円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。		同左	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,521,580	1,942,395
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	1,521,580	1,942,395
普通株式の期中平均株式数 (千株)	16,400	16,400

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 役員の変動

(2020年6月23日付予定)

## ①新任取締役候補

	いむら	あきひろ	
取締役	井村	明広	[ 現 部品事業部 理事 ]

## ②新任監査役候補

	いそべ	としゆき	
非常勤監査役	磯部	利行	[ 現 トヨタ自動車株式会社 生技企画本部 生技管理領域統括部長 ]

(社外監査役)

## 退任予定監査役

	にのゆ	ひろよし	
	二之	夕裕美	[ 現 非常勤監査役(社外監査役) ]

## ③役付取締役の変更予定

	みずたに	よしてる	
専務取締役	水谷	嘉光	[ 現 専務取締役 ]
	のりやす	こうじ	
専務取締役	乗安	弘治	[ 現 専務取締役 ]